

都立公園・庭園で 春を感じよう!

～暖かい日差しの中、春の花たちが咲き始めます～

※庭園・植物園★がついてるものは入園料が必要です。



小金井公園 ★ サクラ
 玉川上水の小金井桜の伝統を受け継ぐヤマザクラをはじめ、園内には多数のサクラが植栽されています。毎年開催される桜まつりは、公園開園と同時に始まったもので、50年の歴史を持っています。
 ☎ 042-385-5611
 JR中央線「武蔵小金井」駅から徒歩15分
 西武バス「小金井公園西口」下車、関東バス「江戸東京たてもの園前」・「小金井公園前」・「スポーツセンター前」下車



六義園 ★ ツツジ
 六義園では、江戸時代に流行したツツジが今なお残っているとされ、園内各所でご覧いただけます。六義園のツツジは4月中旬から5月上旬にかけて咲き始めて見頃となります。その時期に開催予定のツツジ特別ガイドやコンサートなどとともに、お楽しみください。
 ☎ 03-3941-2222
 JR・東京メトロ南北線「駒込」駅下車徒歩7分、都営三田線「千石」駅下車徒歩10分



上野恩賜公園 ★ サクラ
 上野の山がサクラの名所になったのは、寛永年間(1624～1644年)からで、寛永寺を建立した天台僧正が、山内の各所にサクラを植えたのが始まりです。上野公園には、園内だけでも約800本のサクラが植えられています。
 ☎ 03-3828-5644
 JR・地下鉄銀座線・日比谷線「上野」駅下車徒歩2分
 大江戸線「上野御徒町」駅下車徒歩5分
 京成線「京成上野」駅下車徒歩1分



向島百花園 ★ カタクリ
 カタクリは、早春の里山を飾る花と知られ、かつては地中の球根から片栗粉を採ったことから名前がついています。百花園では、庭園の創設期である江戸時代後期から植えられていました。3月中旬頃カタクリが咲き始めるのを先頭にして、多くの種類の花が咲き始めます。
 ☎ 03-3611-8705
 東武鉄道伊勢崎線「東向島」駅下車徒歩8分、京成電鉄押上線「京成曳船」駅下車徒歩13分



井の頭恩賜公園 ★ サクラ
 井の頭恩賜公園の池の周辺には約250本のソメイヨシノ・ヤマザクラが咲き誇ります。ボートに乗って、また散歩しての花見は最高です。満開のサクラが水面に散り敷く様は見事です。
 ☎ 0422-47-6900
 JR中央線・京王井の頭線「吉祥寺」駅下車徒歩5分
 京王井の頭線「井の頭公園」駅下車徒歩1分



浜離宮恩賜庭園 ★ ナadeshiko
 前年11月上旬、約3,000mのお花畑に寒咲きの菜の花の種、「黒川」と「伏見」をまきました。2月下旬にはほほ咲きそろいます。見頃は3月いっぱい、30万本のナadeshikoが織りなす黄色絨毯は圧巻。春の陽光に柔らかく輝き、見る者に息吹を吹き込んでくれます。
 ☎ 03-3541-0200
 都営大江戸線「汐留」駅「築地市場」駅「ゆりかもめ」汐留「汐留」駅下車徒歩7分、JR・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋」駅下車徒歩12分



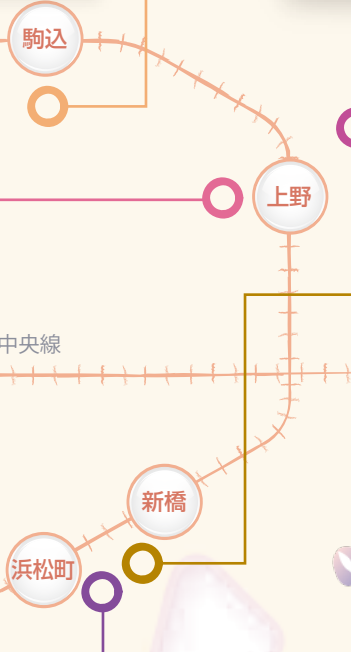
旧芝離宮恩賜庭園 ★ フジ
 旧芝離宮恩賜庭園には、フジの古木が2株あります。4月下旬から5月上旬の最も華やかな開花期には、約1m50cmの長い花房をつけ、フジ棚は紫色一色に染まります。この時期は、気候も暖かく園内がフジの香りにつつまれ、庭園の散策に最も適した季節です。
 ☎ 03-3434-4029
 JR「浜松町」駅北口下車徒歩1分、都営大江戸線・都営浅草線「大門」駅下車徒歩3分

武蔵小金井 吉祥寺 新宿 新橋 浜松町

神代植物園 ★ ハナモモ
 園内のはなもも・むくげ園では、桜の咲く少し前、3月上旬よりハナモモが咲き出します。ハナモモは花を觀賞するももの園芸品種です。園内には約10品種あり、紅、白、桃色の花々が春の園内を艶やかに彩ります。
 ☎ 042-483-2300
 京王線「つつじが丘」駅から京王バス 深大寺行き「神代植物園前」下車
 京王線「調布」駅から小田急バス吉祥寺または三鷹行き 京王バス深大寺行き「神代植物園前」下車



代々木公園 ★ サクラ
 公園内の中央広場では都心で一番広い空が見られます。この中央広場など、園内にはソメイヨシノ等のサクラ類が約800本植えられており、芝生に座ってお花見ができる人気のスポットとなっています。
 ☎ 03-3469-6081
 JR「原宿」駅・東京メトロ千代田線「代々木公園」駅下車徒歩3分
 小田急線「代々木八幡」駅下車徒歩6分



さくら開花情報
 都立公園等のさくら開花情報を提供します。お花見にお出かけの際は、ぜひご利用ください。
【期間】
 3月11日(金)～4月15日(金)
【電話による対応】
 公園緑地部計画課 03-5320-5372
 (土曜・日曜・祝日を除く9時から17時まで)
【ホームページ】(3月11日(金)10時から)
 (公財)東京都公園協会
<http://www.tokyo-park.or.jp/>
 東京都建設局
<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/>



「アズマヒキガエルの繁殖」

井の頭自然文化園 児玉 雅章

アズマヒキガエルは、都内の街中でも見かけることのあるカエルで、ガマガエルとも呼ばれます。東京での繁殖期は2～3月で、公園や学校、民家の池などに、その周辺でくらすカエルが集まって産卵します。最初に池にやってくるのはオス。少し遅れてメスが集まってくるのですが、ふつうメスはオスより少ないので、オス同士でメスの奪い合いが始まります。オスはメスの上に乗れ、前脚でしっかりと抱えてペアになろうとしますが、そこに他のオスが群がって、団子状になることもあります。先にいたオスは後ろからきたオスに、後ろ脚の“蹴り”で必死に抵抗します。ペアができると、上に乗ったオスに促されるようにメスの産卵が始まり、うどんのように長く、つながった卵を産みます。カエルが池に姿を現してから、1週間ほどの短い期間で産卵は終わります。

井の頭自然文化園水生生物館では、昨年1月に動物園水族館では初めて水槽内での繁殖に成功し、12月には2回目の産卵がありました。卵は1週間ほどで孵化して小さなオタマジャクシとなり、今のところ順調に育っています。



【アズマヒキガエルのペア】



【カエル合戦】

～動物園の“かお”～
多摩動物公園
ライオンの赤ちゃん
 2010年10月23日にライオンの赤ちゃん4頭が誕生し、元気に成長中! かわいい赤ちゃんたちに会いに来てください。
 2011年1月5日撮影